

平成14年度事業報告書

自 平成14年4月 1日

至 平成15年3月31日

1. 国際交流事業 (定款4条2項による)

1976年にオーストラリアに寄贈した日本画25点の再活用の方法を探したが、さまざまな困難な状況があり、実現可能な方法を見つけるには至らなかった。

2. 竹中真ジャズピアノ チャリティーコンサート (定款4条6項による)

6月21日、竹中真教授によるチャリティーコンサートも7回を重ねるに至った。会員、協力者に当会の活動状況を報告しご理解をいただく貴重な場となっていると共に、宮崎医師、在日留学生支援、その他の事業費の一助とすることができた。

3. 青盛のぼる・今井奈緒子・西山昌子とクワルテットの演奏会 (定款4条6項による)

11月26日、昨年に引き続きソプラノの青盛のぼる氏、パイプオルガンの今井奈緒子氏に加え、西山昌子氏とクワルテットによるチャリティーコンサートを行い、会員の親睦を図ると共に、各事業費の一助とすることができた。

4. 在日留学生への奨励金による支援 (定款4条6項による)

昨年に引き続き中国(モンゴル)よりの留学生、ポインドグルン 金花(多様性科学)を支援するのに加え、新たに林鵬峰(中国・商業)、馬潔(中国・国際観光学)の2名の留学生を支援し、交流することとなった。

5. 宮崎亮医師支援 (定款4条6項による)

先年度同様、宮崎亮医師の活動を支援した。

6. 会報の発行 (定款4条6項による)

7. “つどい” (定款4条2項による)

つどい 【日本文化再発見シリーズ】

企画委員会において検討を重ねたが、新しい企画の提案が無く、本年度は実施できなかった。

つどい 【外国文化を知る - フォーラム形式による】

昨年度で一応の成果を得たので、今年度の実施は見送った。

つどい 【21世紀を考える】

11月1日、佐藤純一氏（元東京大学工学部客員教授）を講師に「幼児の感性の中に育まれるべき勇気と正義」と題して行われた。出席者22名

つどい 【留学生とのつどい】

3月8日、「留学生と語ろうよ」と題して、留学生8名を含み務33名の参加を得て行われた。ひな祭りの時期ではあり、閑静な個人の住宅で、お茶室も拝見し、優雅で豊かな交流の場となった。

8．創立35周年記念事業（定款4条6項による）

来年度に創立35周年を迎えるに当たり、記念事業の内容と準備を行った。

2003年5月24日（土）霞ヶ関三井クラブにおいて祝会を行う（ティーパーティ - ）
記念事業の1環として視覚障害者施設（全国に73ある）に視覚障害者用センサーのついたわ投げ1式を寄贈する。

在日留学生より論文を募集し、賞金を贈呈する。詳細は検討中。

9．東京ハルモニア室内オーケストラ支援（定款4条6項による）

10．日本テレマン協会定期演奏会協賛（定款4条6項による）